

「変わってみたい」という挑戦の先には、  
出会ったことのない自分がいた

ビヨンドトゥモロー

## エンデバー2021 応募受付中

社会的養護の下に暮らす高校生たちによる、自分の未来への挑戦  
【高校卒業後の進学準備のための奨学金給付を含みます】



内容

- ①年間を通じた人材育成プログラムへの参加（参加に係る費用は主催者が負担します）
- ②高校卒業後の進学にむけたガイダンスや出願準備サポート（無料）
- ③高校卒業後の進学にむけた受験費用の支給（最大10万円）

対象者

応募時点で児童養護施設などの社会的養護の施設または里親家庭に暮らしている高校1年生、2年生  
（選考あり・詳細は応募要項参照のこと）

応募方法

2021年1月13日（水）（当日消印有効）までに必要書類を郵送

選考方法

1次選考 書類選考  
2次選考 個人面接  
（面接は、オンライン／ビデオ通話にて行います。詳細は、1次選考通過者に通知します）

「エンデバー」は英語で「実現への試み」を意味し、18世紀の探検家キャプテン・クックの南太平洋探検の第1回航海の際の帆船の名前でもあり、1992年～2011年に宇宙を飛行したスペースシャトルの名称でもあります。

主催 一般財団法人教育支援グローバル基金

ビヨントゥモローは、様々な社会経済的な事情により、困難に直面した若者が、将来、広い視野と、他者の心の痛みに想いを馳せる共感力を持つグローバル・シティズン（地球市民）となる過程を応援する、人材育成事業です。



“人生で初めて、変わりたい、と思った。それは、ありのままの自分の姿を受け入れてくれる、ビヨントゥモローの仲間がいてくれたからだと思う”

- 藤本翔 聖学院大学心理福祉学部(埼玉県立久喜北陽高等学校卒業)

幼少期から暮らす児童養護施設で小学生の時にいじめに遭った経験から、将来、そのような想いをしている子供たちを支えられる仕事をしたいと考えようになった。いじめの経験があったからこそ、自分はやり返すのではなく、自分でそれを止めたいと思えるようになったと思う。将来は、社会福祉士の資格を取得し、児童養護施設の職員になることが夢。エンデバーでこそなりたい自分になることができる、と思うようになり、自分の意見をきちんと言える人になろうと決意し、高校2年と3年の2年間、エンデバーの活動に参加した。



“悩みながらも参加し、仲間に自らの体験を話すと、皆が聞いてくれ、「自分だけじゃなかったんだ」と初めて思うことができた”

-西塚明美 東海学院大学短期大学部幼児教育学科(岐阜県立八百津高等学校)

厳しい家庭環境の中、一人で苦しんだ日々が続いたが、高校生になり、学校の先生に相談したことから、児童養護施設に入所することとなり、たくさんの人々に守られ、そして大人に甘える安心感を得ることができた。児童養護施設に入所するまでは、将来の夢を考えることもできない日々だったが、今は、自分がそうであったように苦しい想いをしている子どもたちに寄り添う仕事をしたいと考えようになった。エンデバーの活動を通して新しい発見をしたい、前向きな考えをできる自分になりたいと願い、高校3年次に参加した。

## ビヨントゥモロー エンデバーの活動内容(プログラム開催期間:2021年3月~2022年3月)

### 人材育成プログラム

1年間に4回程度開催される人材育成プログラムを通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、広く発信活動を行います。

人材育成プログラム開催スケジュール(予定は今後変更になることがあります)

- 第1回 オリエンテーション・プログラム 東京開催 2021年3月予定
- 第2回 サマー・トリート 開催地未定 2021年7月下旬~8月上旬予定
- 第3回 ジャパン未来リーダーズサミット 東京開催 2021年10月予定
- 第4回 総括・まとめ 東京開催 2022年3月予定

※参加に係る費用(交通費、宿泊費、食費、各種活動費)は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

※2021年度の実施については、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みながら、開催の有無や開催方法を判断しますので、上記の通りに開催されない可能性があります。

### 進学サポート

高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学先の選択肢を広げるための進学ガイダンスや、出願書類準備のためのサポートを行います。また、進学のための奨学金応募に際する書類作成サポートも行っています。

※これまでの合格実績:青山学院大学文学部、慶應義塾大学総合政策学部、早稲田大学社会科学部、など

### 進学準備奨学金給付

2021年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、センター試験検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します(2021年度に高校2年次に在籍している方は奨学金給付はありません)。



ホテルでの職場体験



自分たちの考えをプレゼンテーション



仲間とのディスカッション



海をクルージング

【問い合わせ先】 一般財団法人教育支援グローバル基金

電話: 03-5453-8030

電子メール: info@beyond-tomorrow.org

ファックス: 03-6745-9100

〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-26-18 園ビルディング1F ※応募書類の送付先は左記ではありません。

ウェブサイト <https://beyond-tomorrow.org/>

BEYOND  
Tomorrow

**(社会的養護の下に暮らす現高校1年生、2年生対象)**  
**ビヨンドトゥモロー エンデバー2021 【応募要項】**

社会的養護の下に暮らす現高校1年生、2年生を対象とし、彼らが将来、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す過程を応援する「ビヨンドトゥモロー エンデバー2021」への応募を募ります。本事業は、進学準備に際して必要となる受験準備費用を支給するだけでなく、年間を通じたプログラム開催を通じ、日本全国から集う様々な想いを持つ若者が、広い視野から、自分に何ができるかを考え、主体的に高校卒業後の進路を選択する過程を応援します。

【主催】 一般財団法人 教育支援グローバル基金

【プログラム期間】 2021年3月～2022年3月（1年間）

【プログラムの内容】

1. 人材育成プログラム

1年を通して開催される集合型及びオンラインでの人材育成プログラムを通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、広く発信活動を行います。

これまでの人材育成プログラムの例

オンライン・プログラム（ビデオ通話を介し月1回程度開催）

オリエンテーション・プログラム（毎年3月開催 3泊4日・東京）

サマー・リトリート（毎年7～8月開催 4泊5日・兵庫・東京・山梨・三重など）

ジャパン未来リーダーズサミット（毎年秋開催 2泊3日・東京）

※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

※新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮しながら開催の有無や開催方法を判断します。

2. 進学サポート

高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学先の選択肢を広げるための進学ガイダンスや、出願書類準備のためのサポートを行います。また、進学に必要な資金のための奨学金応募に際する書類作成サポートも行う予定です。

3. 進学準備奨学金給付

2021年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、大学入学共通テスト検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します（2021年度に高校2年次に在籍している方には奨学金給付はありません）。

エンデバー2021は、上記3つの活動から成る、1年間の包括的なプログラムです。但し、2021年度の実施については、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みながら、開催の有無や開催方法を判断しますので、上記の通りに開催されない可能性があります。

【応募資格】 下記条件を満たすこと。

- ① 応募時点で、児童福祉法に基づき、児童養護施設などの社会的養護の施設に暮らしている、または都道府県知事から委託を受けた里親家庭に暮らしていること。
- ② 応募時点で高校1年次、または2年次に在籍していること。
- ③ 年間を通じて開催される各種プログラムに参加する意志があること。
- ④ 2021年3月に開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。
- ⑤ オンラインプログラムに参加するための安定したインターネット環境を自身の責任で準備できること。

【選考方法】

1次選考：書類審査

2次選考：個人面接（オンライン）

※ZOOMを使ったオンラインビデオ通話での実施になりますので、インターネット環境とデバイス（PC、スマートフォン、タブレットなど）のご準備は、応募者で行ってください。

※1次選考通過者を対象に、本人や施設長又は里親を対象とした事前ヒアリングを行う可能性があります。

※最終合格者には、施設長の発行する在籍証明書または里親委託証明書（児童委託証明書）を提出いただきます。書類内容を確認の上、応募資格を満たしていることが認められない場合には合格を取り消します。また、合格した場合でも、後日、申告内容に虚偽や事実と異なることが認められた場合にはプログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。

【締切】 2021年1月13日（水）当日消印有効

【裏面に続く】

**【応募方法】**

下記の書類の全てを、締切までに提出すること。応募書類は返却いたしません。1次選考の結果についての個別のお問い合わせは理由の如何を問わず受け付けません。1つの施設から複数名の応募が可能です。

- ① 応募用紙（指定応募用紙に必要事項を記入のこと）
- ② 施設長／里親からの推薦状（厳封のこと）

**【応募の流れ】** 選考は、以下のスケジュールで行います。

2021年1月13日（水）	応募締切（当日消印有効）
2021年1月中	一次選考合格者への合格通知および2次選考案内送付 ※ <sup>1</sup>
2021年2月中旬	二次選考（オンライン） ※ <sup>2</sup>
2021年2月中	最終合格者発表 ※ <sup>3</sup>

※<sup>1</sup> 一次選考不合格者には通知はありません

※<sup>2</sup> ZOOM を使ったオンラインビデオ通話での実施になりますので、インターネット環境とデバイス（PC、スマートフォン、タブレットなど）のご準備は、応募者ご自身で行ってください。

※<sup>3</sup> 二次選考を受験した応募者本人及び応募者の居住する児童養護施設長全員に可否を通知します。

本プログラムの合格者は、2021年3月に開催されるオリエンテーション・プログラムへの参加が必須となります。

**【送付先】** 応募書類の送付先は、以下の通りです。（切り取って郵送先のラベルとして使用してください）

※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷1-12-13  
渋谷郵便局留

一般財団法人教育支援グローバル基金  
「ビヨンドトゥモロー エンデバー2021 係」 行

**※局留め郵便のため、宅急便での送付はできません。**

**【一般財団法人 教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて】**

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、社会経済的に困難な状況にある若者たちを対象とした奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を通し、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

理事	橋本 大二郎（代表理事） 小林 正忠 木山 啓子 坪内 南 本庄 竜介 村瀬 悟	元高知県知事 楽天株式会社 常務執行役員 チーフウェルビーイングオフィサー 特定非営利活動法人ジェン（JEN）理事・事務局長 一般財団法人教育支援グローバル基金 マネージングディレクター グリーンコア株式会社 代表取締役 メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士
評議員	羽生 善治 宮城 治男 山崎 直子	将棋棋士 NPO 法人 ETIC. 代表理事 宇宙飛行士
監事	塩崎 彰久	長島・大野・常松法律事務所 パートナー弁護士

**【問い合わせ先】**

一般財団法人教育支援グローバル基金  
 電話：03-5453-8030      電子メール：[info@beyond-tomorrow.org](mailto:info@beyond-tomorrow.org)      ファックス：03-6745-9100  
 〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-26-18 園ビルディング 1F      ※応募書類の送付先は左記ではありません。

ビヨンドトゥモロー エンデバー2021 応募用紙

名前	(氏)	(名)
ふりがな		
住所（郵便物送付先）	〒	
応募資格について	あてはまるものに✓をつけてください <input type="checkbox"/> 児童養護施設に暮らしている （施設名： _____） <input type="checkbox"/> 児童養護施設以外の社会的養護の施設に暮らしている （施設名： _____） <input type="checkbox"/> 都道府県知事から委託を受けた里親家庭に暮らしている （里親氏名： _____）	
電話番号	自宅	携帯電話
性別・学年	男 ・ 女 （○をつける）	学年
学校	学校名（正式名称）	
生年月日	（西暦） _____ 年 _____ 月 _____ 日	
自宅最寄駅	_____ 線 _____ 駅	
選考設問1： あなたの人生の中で、最もつまかった体験はどのようなものでしたか。それについてどのように考えていますか。		
選考設問2： あなたは、どんな自分になりたいですか。になりたい自分の姿を、できるだけ具体的に書いてください。		
選考設問3： あなたは将来、どのような道に進みたいですか。その夢の実現のために、高校卒業後にどのような進路を希望していますか。		
選考設問4： 現在、打ち込んでいる活動や、特技があれば教えてください。		

私は応募用紙に全ての必要事項を偽りなく正しく記入したことを誓約し、ビヨンドトゥモロー エンデバー2021 に応募します。

本人氏名（自署）： \_\_\_\_\_ 保護者氏名（自署）： \_\_\_\_\_

**ビヨンドトゥモロー エンデバー2021**  
**施設長／里親による推薦書**  
(施設長または里親がご記入の上、厳封ください)

志願者氏名	
-------	--

ビヨンドトゥモロー エンデバー2021 は、社会経済的に困難な状況にありながらも社会の力となる志を持つ、社会的養護の下に暮らす高校生を応援しています。選考にあたり、志願者が保護されることになった背景や日常生活における所見や志願者の人柄など、その他、当財団が選考にあたって志願者について知ることが有用と思われる情報について下記にできるだけ具体的にご記入ください。紙面が足りない場合は、裏面または別紙に記載してください。

日付（西暦）

---

住所

---

電話番号

---

推薦者氏名

印

---

(該当するものに✓をつけてください)

志願者との関係

本人が居住する施設の施設長    
  都道府県知事により委託された里親

---

施設名（社会的養護の施設に暮らしている場合）

---

**本状は必ず施設長または里親の方がご記入の上、厳封してください。**

## ビヨンドトゥモロー エンデバー2021 応募を迷っているかもしれないあなたへ



藤本翔

聖学院大学心理福祉学部（埼玉県立久喜北陽高等学校卒業）

幼少期から暮らす児童養護施設で小学生の時にいじめに遭った経験から、将来、そのような想いをしている子供たちを支えられる仕事をしたいと考えようになった。いじめの経験があったからこそ、自分はやり返すのではなく、自分でそれを止めたいと思えるようになったと思う。将来は、社会福祉士の資格を取得し、児童養護施設の職員になることが夢。エンデバーでこそなりたい自分になれることができる、と思うようになり、自分の意見をきちんと言える人になろうと決意し、高校2年と3年の2年間、エンデバーの活動に参加した。

もともと、学校でも、暮らしている児童養護施設でも、口数が少なく、あまり話すほうではなかったし、外部のイベントやプログラムに自分から参加するということはありませんでした。でも、施設の職員の方がエンデバーのチラシを見せてくれた時、なぜか行ってみたいと思って「応募する」と答えました。普段の自分なら絶対に応募しなかったと思うので、職員の方も驚いていました。学校では、児童養護施設に暮らしているということをお話することもあまりなく、たぶん心のどこかで共感を求めている、他の施設に暮らしている同世代の人たちに会ってみたいかなと思いました。

でも、いざ合格してから、実際にプログラムに参加するまでは、そこで出会う人たちと打ち解けることができるのかとか、不安もたくさんありました。参加して最初の日に、「マイ・ストーリー」というセッションで、それまでの自分の生き立ちを共有する機会がありました。そこで、それまでに話せなかったようなことも、内側から全部話すことができ、気がついたら皆と仲良くなっていました。3泊4日のオリエンテーションの間、ずっと皆と話していました。話すことが苦手だった自分が、気がついたらずっと話していました。

プログラムが終わってからも、あの時、自分は何を言いたかったんだろうとか、考えることが増え、もっと皆と話したいと思うようになりました。ビヨンドトゥモローは、隠すことなく、自分が自分でいられる場所。だからこの場所でこそなりたい自分になることができる、と思うようになり、自分の意見をきちんと言える人になろうと決意しました。

高校2年と3年の2年間、エンデバーの活動に参加して、今まで向き合っていなかった、あるいは向き合う必要がないと思っていた自分の生き立ちやそれに対する思いを、自分の中で整理できたことがすごく良かったと思っています。この経験から自分のことを知ることができ、それを言葉にして伝えられるようになりました。そのおかげで奨学金の面接などで自分の気持ちを伝えることができるようになり、大学進学のための奨学金の面接に合格することができたこともあります。そういったことが自信にもつながり、今、交友関係にも役に立っているように思います。ビヨンドトゥモローに参加するまでは、相手が声をかけてくれるのをまっていたけれど、自分の気持ちを整理できたことで自信が付き、自分から人に積極的に声をかけることができるようになりました。

大学生になり「自分が本当にやりたいことをできる人間になる」という目標をたて、夏休みに大学の海外研修に参加し、カナダに行きました。最初は英語が全くききとれなかったけれど、ジェスチャーを交えたり、スポーツを通したりして現地の人々と交流し、少しずつ耳が慣れて聞き取れるようになり、英語が楽しくなりました。これからも、もっと多くの国を訪問し、様々な価値観に触れたいと考えています。

大学では社会福祉を学んでおり、将来は、社会福祉士の資格をとって児童養護施設で働きたいと思っています。今まで自分が経験してきたこと、人にしてもらって嬉しかったこととか、自分が悔しい思いをしたこととか、弱い立場の目線を自分が知っているから、そういう立場で人に接することができるようになりたいし、一人一人の子どもたちに声をかけることができる人になりたいと思います。

エンデバー2021への応募を、今、迷っている人へ。迷っているなら挑戦してみてください！

私も迷わず行こうと決めたわけではありません。一度は勇気が持たず諦めさえしました。それでも惹かれるものがあったので応募を決意することができました。今はその時の自分に感謝しています。口数が少なかった、人前で自分の意見を言えなかった私でも変わることができました。今までの自分を変えたい、新しい挑戦をしたい、同じような境遇の人に会いたいなどと少しでも思う人は挑戦してみてください。